

【施設状況】

グループ名称	吉田公民館、吉田老人福祉センター									
指定管理者名	吉田地区住民自治協議会						法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課			副	101000	高齢者活躍支援課		
構成施設	3313	吉田公民館								
	1380	吉田老人福祉センター								
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【公民館】：教室1、教室2、教室3、教室4、大教室、和室・茶室、音楽室、調理室、多目的ホール、図書館分室、資料室 【老人福祉センター】：ボランティアルーム1 共通：事務室									
施設設置目的	【公民館】：地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。 【老人福祉センター】：高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。									
基本方針等	【公民館】：社会教育法の規定に基づき、住民のために实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。 【老人福祉センター】：施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。									
主な実施事業	【公民館】：定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】：高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	吉田地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成29年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
	吉田公民館 利用者数	人	55,104	49,389	22,912	20,987	92%	
	吉田公民館 利用率	%	36.5	34.8	23.3	21.4	92%	
	老福:生きがいづくり講座受講者数	人	3,679	3,610	1,808	1,667	92%	
	老福:地域福祉活動利用者数	人	1,425	1,330	193	69	36%	
	老福:グループ活動利用者数	人	1,570	1,228	676	481	71%	
						#DIV/0!		
						#DIV/0!		
(特記事項)【令和3年度】 【公民館】 新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」適用のため、公民館(1月28日～3月6日)は休館とした。開館時も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。 【老人福祉センター】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、老人福祉センター(4月1日～4月21日/8月19日～9月21日/令和4年1月12日～3月31日)を休館とした。開館後も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	【公民館】 ・公民館の利用の許可に関する業務・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務・公民館の付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 【老人福祉センター】 ・地域福祉活動に係る相談、指導及び調整・地域ボランティアの育成・地域福祉活動に関する講習会等の開催・地域福祉活動を行う者への会場提供・各種相談及び情報提供・高齢者を対象とする講座等の開催・高齢者のクラブ活動等の育成						
	自主事業	提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)	【公民館】【老人福祉センター】共通 公民館報2回/年、ノルテだより3回/年の発行により情報発信を行い、公民館、老人福祉センター活動の広報に努めた。各種講座等の案内チラシを地域に回覧した。また「広報ながの」「生涯学習だより」への掲載、市民新聞や週刊ながのへの記事掲載の利用等により、事業活動やその他情報を広く周知した。 ホームページを開設し、スムーズな発信で分かりやすく、親しみの持てる公民館を目指した。							

3

3 利用者評価

	区分	内容		評価
	利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法	
		(2) 調査、会議等の内容 【公民館・老人福祉センター共通】 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿への記載箇所を設けるとともに返却時等に聞き取りを実施した。		
		(3) 調査、会議等の結果 【公民館】 実施した一般講座 6講座(14回) 講座参加者数 211人 アンケート回答者数 90人 満足 93.3% やや満足 6.7% 【老人福祉センター】 生きがいづくり講座 8講座 参加者138人 アンケート回答者数 113人 満足 85.9% やや満足 4.4% その他 9.7%		
利用者評価	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 【公民館】 「そば打ち講座」毎年キャンセル待ちが出る人気講座のため、初心者コースと経験者コースに分けて2回開催した。また、職員への対応について、コロナ禍で講座を開催してもらったことが嬉しい、日程や準備など調整し開催してくれた職員に感謝したいと好評だった。 【老人福祉センター】 新型コロナウイルス感染防止対策のため、募集人員を減らし講座を実施したが、講座内容・講師への満足度が高く好評だった。感染症感染防止対策下における施設運営についても、職員の丁寧な対応が評価された。		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 【公民館】 A.冬休み企画(宿題の書初め講座)に参加できなかった小学生の親から、「本人がやる気になったのに、定員があり参加できず残念だった。」との意見があった。 B.駐車場を利用した時に、時々バーが開かない時がある。時間延長で駐車券の機械に差し込んでも読み込みエラーが発生するときがある。 【老人福祉センター】 なし			
	<<対応措置>> 【公民館】 A.冬休み企画(宿題の書初め講座)は人気のため、今年度は講師を3名から1名増員、定員を20名から5名増員したが、希望者全員に参加いただけなかった。書道は個別の指導が必要であり、限られた時間と場所で開催するため、定員が必要である。次年度は、講師の方々と相談し定員の増加ができるか検討したい。 B.駐車場の機械については公民館だけで対応できないため、エラーが出た場合は再度事務室で駐車券の認証をしてもらっている。			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金	2,200,000	利用料金	793,981	使用料	75,240	使用料	
	指定管理料	28,616,000	指定管理料	28,616,000	雑(納付金)	1,862,790	雑(納付金)	2,075,292	
	委託料	0	委託料	0	行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0	
	販売収入等	0	販売収入等	0	貸付料	0	貸付料	0	
	その他収入	0	その他収入	54,058	その他	0	その他	0	
	計	30,816,000	計	29,464,039	計	1,938,030	計	2,191,242	
支出	人件費	13,565,000	人件費	13,452,417	指定管理料	28,616,000	指定管理料	28,616,000	
	設備管理費	2,506,000	設備管理費	2,567,203	委託料	0	委託料	0	
	備品購入費	0	備品購入費	70,400	需用費	1,494,421	需用費	1,560,846	
	修繕費	520,000	修繕費	1,103,421	役務費	0	役務費	0	
	光熱水費	7,730,000	光熱水費	6,824,003	使用料・賃借料	328,139	使用料・賃借料	474,506	
	事業費	2,699,000	事業費	1,469,825	修繕費	435,600	修繕費	0	
	事務経費	2,660,000	事務経費	2,322,423	工事請負費	237,457	工事請負費	0	
	本社経費	0	本社経費	0	備品購入費	0	備品購入費	0	
	その他	1,136,000	その他	1,274,934	その他	0	その他	0	
	計	30,816,000	計	29,084,626	計	31,111,617	計	30,651,352	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		379,413	差引	-29,173,587		-28,460,110	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								46.3%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長兼所長1人(1人)、副館長兼副所長兼主事1人(1人)、公民館事務職員2人(2人)、老人センター事務職員2人(2人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	<p>【公民館・老人福祉センター共通】</p> <p>施設利用者は、公民館20,987人、老人福祉センター2,217人で令和2年度、公民館22,912人、老人福祉センター2,677人と比較すると減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。</p> <p>【利用者評価を4とした理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市報や市民新聞、ホームページ等を活用し、スムーズな発信で分かりやすく親しみの持てる施設を目指し、広く情報発信したこと。</li> <li>・アンケートや聞き取り調査などから利用者の要望に沿った講座を新設し、受講者から好評を得たこと、を評価した。</li> </ul> <p>【地域連携】を「4」とした理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治協議会や地域との連携事業を開催していること。</li> <li>・講座講師を地元の方に依頼し、受講生の増加や経費の削減を図ったこと、を評価した。</li> </ul>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<p>【公民館・老人福祉センター共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。</li> <li>・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。</li> <li>・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。</li> </ul>
---------------------	--



指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【公民館】

- ・ハワイアンフラ、エキゾチックアジア料理講座を新規開設し、受講者要望に応えた。また、今年度も冬休み中の書初めに取り組みないという親子を対象に「年内に宿題を片付けよう」と銘打って「子ども書初め教室」を開講。予想を超える申し込みがあり、概ね高評価を得た。
- ・特定の方が長期にわたり、受講者となっている講座について、先着順ではなく初心者優先とし、受講者の底辺拡大を行った。
- ・公民館報(吉田地区全戸 年2回)、各種チラシを吉田地区に回覧し、また「広報ながの」「生涯学習だより」「週刊長野」等への掲載をとおして、各種講座などの事業活動やその他の情報を広く告知した。
- ・R2年に開設したホームページで、随時、講座の動画や情報を発信し分かりやすく、親しみの持てる公民館を目指した。
- ・現在、Wi-Fiは公民館が主催する講演、講座やパソコン使用団体、会議等で必要なケースがある。一方、個人情報や市の情報を扱う公民館にとってそのセキュリティ対策は不可欠である。Wi-Fiを利用したい団体等からのニーズに答えるため、まず公民館の活動、市のリモート会議等への使用を目的に、他館に先駆け事務所を含む4室にWi-Fi環境を整えた。

【老人福祉センター】

- ・高齢者の関心が高い介護予防講座を3講座(いまからできる健口講座・ストレッチポール講座・ミュージックベルを楽しもう)、健康に配慮した講座を1講座(薬膳料理講座)新設し、受講者の要望に応えた。
- ・特定の方が長期にわたり受講者となっている講座について、先着順ではなく初心者優先とし、受講者の底辺拡大を行った。
- ・平日頃からご利用者との会話を心がけ、ちょっとした意見や感想をアンケートの要望と合わせ、配布物の字の大きさなど改善に役立てた。

② 業務の効率化に対する取組み

【公民館・老人福祉センター共通】

- ・講座を実施するにあたり、運営協力者としてボランティアを募集し、職員の負担軽減を図り、その間に他の事務を進めることができた。
- ・職員が手を貸さず、任せられるものは、講師・受講者に任せ、自主性を醸成することに努めた。
- ・地元の方等に講師の依頼をし、受講しやすさを図り講師謝礼金の軽減を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【公民館・老人福祉センター】共通

- ・多目的ホール、大教室のほか貸出部屋数が多いことに比べ、駐車場のスペースが少ない。
- ・施設の老朽化に伴い、修繕や備品の更新に係る費用の増加が見込まれる。

【公民館】

- ・図書貸出し数が多く、その対応に追われてしまい、他の仕事ができない状況があった。
- ・設備の老朽化が際立っている。多くの窓は開閉に支障があり、教室の床は至る所が割れている。窓は形状が特殊で部品の調達ができず、一部の窓を開け換気をしている。床は面積が大きく、対応がむずかしいため、ガムテープ等で補修している。
- ・特に利用頻度の高い多目的ホールは、設備様式が特殊なため、冷暖房設備、照明設備、電動窓設備、電動イス設備等に老朽化による支障があり、修繕に必要な部品が廃番のため調達できない。冷暖房が効かない点はご利用者に多大なご迷惑をお掛けしている。修繕や備品の更新に係る費用の増加が見込まれる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

【公民館・老人福祉センター】共通

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、講座を中止、縮小しながらも計画どおり実施し、高評価を得ることができた。アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行なうことができた。

② 次年度以降の取組み

【公民館・老人福祉センター】共通

- ・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行う。
- ・男性が参加しやすい講座を開催する。
- ・ボランティアの一層の育成に努める。
- ・ホームページを利用し、インターネットを通じての事業活動の広報を図る。

【公民館】

- ・Wi-Fiのセキュリティを強化し、必要な団体に提供できるように改善をはかる。
- ・関係各所と連携し、講座内容によって実施、休止の条件の明確化を図り、ご利用者が判断できる提供情報の標準化を目指す。